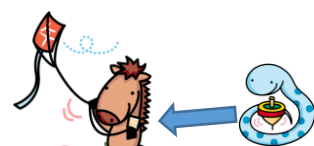


みなさま、今年も大変お世話になりました。



ともだちと しっかり学び おもいやりの心 かよわせる 利岡の子

わ か た け

No.12

R7.12.24 文責 北代

(新) 利岡橋に巨大画「WELCOM 利岡! (仮称)」が完成!



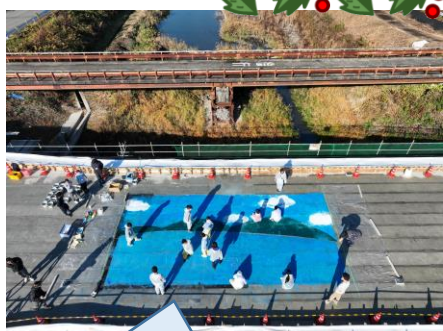
子どもたちは、利岡小を取り巻く地域の自然や人をイメージしてのびのびと描いていきました。地域に対してこの絵のようなイメージを持っていることに子どもたちの地域愛を感じ、とても嬉しく思います。人も自然も優しく豊かなこの地域を子どもたちは見事に表現しました!!このような貴重な体験を企画、ご準備くださった工事関係者(サイバラ建設、まちづくり課)のみなさまに感謝いたします。



まず、四万十市役所まちづくり課の加用さんから「道路(トンネルや橋も含めて)」について教わりました。また、利岡橋の架け替えに際してどのような工事をしているかも詳しく知ることができました。



なんと、5, 6年生の描いた文字が4枚の橋名板に刻まれました。重厚に完成した名板に驚きと喜びを隠せない子どもたち。以下の投稿をご覧ください。
《toshioka_elementary_school》(インスタ)
完成した絵の上に敷かれるアスファルトの厚みも確認しました。



どこにどんなもん描くとええろかね?



「にじむ~!!」前日の思わぬ雨の影響です。



だいぶできたね!次は何をかこうかなあ。

高知新聞の投稿記事から利岡小学校の存在意義を考える

—人数の多い学校と少ない学校—

◇先日全校道徳の時間に山崎教頭が高知新聞「声ひろば」への以下の投稿記事をもとに議論する道徳の授業を行いました。

少人数はこまることも 宮崎 暖 大月小6年

6月5日「声ひろば」の須崎市南小、西村優愛さんの投稿を読みました。私は少人数はこまることもあると、ちがう意見です。

どこの市町村も少子化に悩まされていることは、事実でしょう。私の小学校も人数が少なくなっています。前には20人近くいましたが、今では100人を切って92人です。人数が少ないと閑散な雰囲気です。他にも運動会や遊びなどでも限られるから、人数が多ければもっと楽しいのになあと思います。

今は少人数で体調がおちついていていいことは良いことと思うけど、大人になって社会に出た時に、それではこまることば必ず出てくると思います。

例えば1人、2人にしか関わっていないければ、それだけの情報やつながりしかできないけど、例えば100人いれば、100人分の情報やつながりができ、その経験は、自分のこまった時に助けになったり、自信につながると思うからです。

だから、少人数の所が快いかもしれないけど、少しずつしょう来に向けて、気持ちを切りかえ、前に一歩、二歩ずつでもふみ出していくことを怠えんしています。私も人数は少ないけど、大月小学校で最後の1年頑張りたいです。

小中高生コーナー

人数が少ない学校

西村 優愛 須崎市南小学校6年

南地区では子どもの数が減ってきています。

昔の写真には、南小中合わせて100人ほどの子どもたちが写っていますが、今は小中合わせて3人になりました。

その原因は、朝ヶ丘中学校と多ノ郷小学校に行った人たちがいるから少なくなったのだと思います。来年は、統合で、絶対に朝ヶ丘中に行かないといけないことが決まったからです。

親の都合で別の学校に行くことになった人たちがいます。また、大人になって、いろいろな仕事に就くために県外や都会に出て行った人たちがたくさんいると思います。

私は、少ない人数になっても、元気に頑張っています。私は、あまり人数が多いところは苦手です。コストコや街に行っても体調を崩します。なので今の環境は私に合っていると思います。

大人数の中では、なかなか発表しにくかったですが、今は2人だけの授業なので発表できます。授業中からいろいろなことがあっても、先生が丁寧に教えてくれるので、分かりやすいです。

私は、この南小学校で、この1年、頑張りたいです。

見方・考え方はさまざまです。

今、ここに通い、学ぶ子どもたちが「利岡小で学ぶことが好き」と言える環境であることを嬉しく思います。

少ない小学校も私はいいなと思いました。私は多い学校では、自分で進んで行かないといけないけど、少ない学校は、先生がいてねいに教えてくれるから、いいなと思った。(四年 琴之音)

ぼくは、多すぎても少なすぎてもいやなので二人の意見にさんせいします。ぼくがこう思う理由は、多かつたらいじめなどにあうし、少なかつたら遊ぶときつまんなかつたりするからです。(四年 碧土)

私は、前の学校は人数が多かったの、いやがらせもあったけど、今の学校は人数が少なくてびつくりしたけど、いやがらせもなかったから、今の学校がいいなと思いました。(四年 璃々愛)

ぼくは、人数が少なくなっていることが分かりました。前の学校は人数が多かったけど、今の学校は少ないから意見がいっぱい言えるようになりました。(三年 蒼空)

ぼくは、二人の考えを聞いてみて、悲しいところと同じところがあります。考え方が同じところに線を引きました。(三年 大和)

私は、はじめ少人数の方が分かりやすいけど大人数もつながりがあるので大人数も少人数もいいところがあるということが分かった。中学校で大人数になってもい로운な人と関わってがんばりたい。(五年 こと)

私は、人数が多い方がいいと思ったけど、たしかに、人数が少ない方が、勉強をわかるまで教えてくれるので人数が少ない方がいいです。だけど、人数が多い方がもり上がるし、遊びも楽しいし、いろいろな人と関われるので、多い方がいいと思いました。なので、どちらもいいところや悪いところがあると分かりました。私は少なすぎず、多すぎないほうがいいです。利岡小学校は人数が少ないけど、みんなが遊ぶと楽しいので、この学校(利岡小)はいい学校だと思いました。(五年 未織)

ぼくは、二人の考えと同じように、少なくとも良さがあるということや、楽しく学ぶことを経験しているから西村さんの考えと同じです。(五年 昂汰)

(二人のように)ぼくは、この五年になつていろいろなことがあったけど、この反省をかり返って残りの学期(三学期)をがんばりたいです。(五年 紘史朗)

これまで考えたことのない視点からの意見を読み、自分の過ごしている環境について考えることができて驚きました。

さまざまな環境で自分にできることをすることが大切なのだと子どもたちの様子を見て改めて感じました。

子どもたちは、大きな学校で友達を増やすということではなく、利岡小学校で過ごすことが好きで、この学校で一緒に学ぶ友達を求めていると感じました。

(授業者 山崎)